

長期維持管理技術委員会 平成26年度第2回 議事要旨

日時：平成26年10月30日（木）10:00～12:00

場所：阪神高速道路（株）本社 11F 会議室

出席：委員長：宮川 豊章（京都大学大学院工学研究科 教授）

委員：小林 潔司（京都大学経営管理大学院 教授）

森川 英典（神戸大学大学院工学研究科 教授）

杉浦 邦征（京都大学大学院工学研究科 教授）

議事：

1. 前回議事要旨の確認
2. 大規模修繕・更新計画の対象について
3. H-BMS改良検討の検討状況報告
4. その他

主な意見：

- ・ PC有ヒンジ橋を含め他機関での補修事例について事例収集を行うほか最新の知見を取り入れ検討を進めるべき。
- ・ 調査結果に基づく損傷要因分析が重要。初期の不具合の有無、建設時の現場条件の制約、補修工事の不具合など、その損傷メカニズムをチェックする必要がある。
- ・ 今回とりまとめられた大規模修繕・更新計画については、現時点の情報に基づく内容として評価できる。一方、本事業は長期にわたるため、今後とも継続的に最新の点検結果や評価技術を反映させつつ実施することとする。
- ・ そもそもマネジメントシステムは再補修が何度でも可能であると想定しており、大規模修繕・更新については例外事項としてきた。システムとしては大規模修繕・更新計画を取り込めることが大事。
- ・ 大規模修繕・更新計画を取り込むなど今後のシステムの改善については、どのような情報が必要かを含め、目標を明確にして検討を進めていくこと。

以上